



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 井手町立多賀小学校 】

1 実践テーマ	【Ⅲ・Ⅴ】
2 実施対象者	多賀小学校全児童；全8学級・78名 ※取組によっては、学年を限定して実施
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育科・総合的な学習の時間） ② その他（給食時間）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラ選手との触れ合いやパラスポーツの体験を通して、障がいのある方の苦勞や努力について知り、パラスポーツへの理解を深める。 ・オリンピック・パラリンピックに関する掲示物を通じて、その意義や歴史について知り、オリンピックへの興味・スポーツへの関心を高める。 ・オリンピック・パラリンピックに関する図書を集め、コーナーを作って紹介することで、児童の関心を高め、調べ学習等にも活用させる。 ・世界各国の料理や我が国の伝統的な料理を給食で提供することにより、オリンピック・パラリンピックが開催された国々の食文化について知る。
5 取組内容	<p>(1) ボッチャ体験（6年生9名／令和3年12月7日） ＜講師；片岡正教さん／ボッチャ協会理事＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者も健常者も一緒に楽しめるボッチャについての講話とボッチャの体験（ルール指導・練習・試合） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) オリ・パラ掲示板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに関わる情報を児童に広めるための掲示板を設置＜毎年コーナーを増設＞ 「開催地の変遷」「各国のメダル獲得数」 「東京五輪の新種目」「パラリンピックの競技紹介」 「東京五輪の選手紹介」「東京五輪の結果」等

	 <p>(3) オリンピック関連図書コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに関連する図書を集めて、図書館にコーナーを設置。 ・図書委員会でPOPを作るなどし、全校児童に紹介。 ・長期休みの自由研究など、調べ学習での活用の呼びかけ。 <p>(4) オリ・パラ給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の郷土料理や冬季オリンピック開催国である中国の料理等を取り入れた献立で、オリ・パラ給食を予定。
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボッチャは、今年のパラリンピックでやっていたので興味があった。初めてやってみたが、とても楽しかった」「ボッチャは障がいのある方と一緒にできるので、これからもやってみたい」など様々な感想が聞かれ、交流の成果がみられた。 ・掲示板や図書を見て、「東京五輪では、日本がたくさんメダルを取れたので、うれしかった」「いつかオリンピックに出てメダルを取りたい」など、様々な感想が寄せられ、児童の興味・関心を高めることができた。 ・オリ・パラ給食は、毎年、実施しているので、楽しみにしている児童も多く、給食を通してその国の食文化について知ることができる。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツの体験時期を、校内の障がい者理解教育月間に合わせて実施した。 ・児童が、東京五輪を身近なものとして捉えられるように、掲示板のテーマの設定や、図書の選定を行った。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、新型コロナウイルス感染症予防のため、オリンピックやパラリンピアンを招いての講演会や実技指導を実施することができなかった。 ・単に掲示物や図書を見るだけでなく、児童が自らオリンピック・パラリンピックについて調べたくなるような仕掛け等、能動的な関わりを増やせるよう工夫していきたい。
9 来年度以降の実施予定	<p>児童のスポーツへの関心や運動への意欲、障がい者スポーツへの理解を高める上で、たいへん効果的な取組だったので、今後もボッチャ等継続して取り組んでいきたい。</p>